

# 2017年、核兵器廃絶に向けた歴史が大きく変わります!

～国連で交渉が進む「核兵器禁止条約」～

## 世界の核兵器と被爆者の思い

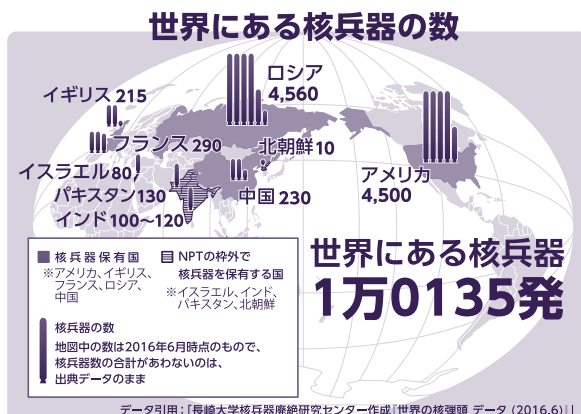
広島・長崎に原子爆弾が落とされてから今年で72年。世界には未だ10,000発程度(※)もの核兵器が存在します。被爆者は「後生の人々が生き地獄を体験しないように、生きる間に何としても核兵器のない世界を」と訴え続けています。

(※10,000発は軍用合計数。退役・解体待ちの核兵器を含めると約15,000発)

## 核兵器をなくすことはできるの?

核兵器の拡散を防ぐため、世界にはルールが存在します。それがNPT(核拡散防止条約)です。NPTはアメリカ、イギリス、フランス、ロシア、中国を核兵器保有国として定め、それ以外の国が核兵器を持ったり、開発することを禁じています。

そのかわりとして、核保有国は核兵器を減らし、廃絶するための努力が課せられています。しかし、核保有国による核を減らす努力が思うように進まない中、「核兵器禁止条約」をつくり、核兵器を他の大量破壊兵器のように禁止しようという動きが本格化。2017年6～7月、条約成立に向けて、国連で核兵器を法的に禁止する「核兵器禁止条約」第2回交渉会議が開催されました(115カ国が参加)。



## パルシステム東京も、核兵器廃絶活動に取り組んでいます!



◀原爆の悲惨さを学び、語り継ぐ「ヒロシマ・ナガサキ平和スタディツアー」(写真) 2016年度参加者



▲核廃絶について学ぶ学習会(写真) アーサー・ビナード氏による講演会「核廃絶に向けて私たちにできること」(2014年)



▲5年に1度アメリカで開催されるNPT(核拡散防止条約)再検討会議へ職員を派遣(写真) アメリカ・ニューヨークでの共同行動集会と平和パレードに参加(2015年)

## Message for Peace

平和を願う気持ちは、被爆者も子ども達も同じ…。広島に被爆者で、ノンフィクションライターとして活躍される関千枝子さん、そして平和スタディツアーで核の恐ろしさを学んだ高校生からのメッセージをお届けします。



関千枝子さん  
(ノンフィクションライター・広島被爆者)

### 伝えたい…72年前、ヒロシマで被爆した私からあなたへ

核兵器は、人類の歴史で最悪の兵器です。こんな兵器を3度使わせてはいけな、原爆地獄は絶対に許さない。これがヒバクシャの思いです。

しかし、残念ながら、人類は、この凶器を廃絶できないまま、72年の月日が過ぎてしまいました。

今年、国連で「核兵器禁止条約」交渉が始まり、条約案も発表されました。この案を現実のものとし、この地球から一切の核兵器を追放したい。核のない世界に向かって、歩みははじまりました。「夢」を現実にする歩みが始まったのです。

第2回の交渉は6月15日から始まりました。第一回目の会議には日本は参加せず、世界中の平和愛好者を失望させました。今度は、アメリカに忖度せず、「被爆国」として、核兵器廃絶の先頭に立つことを望みます。

「核兵器はいらない。戦争はいらない!」。声を上げましょう!



ゆりさん(17歳)

### ヒロシマへ行ってきました…高校2年生の私からみんなへ

私がこのツアーに参加して気づいたことの一つは、戦争の話題は興味のある人だけが知っているのは駄目なのだ、ということです。平和な世界とは、興味のない人ですら戦争の事実を知っている世界だと思います。

ヒロシマがいかに戦争、特に原爆について知ることができる街であっても、来たいと思う人と修学旅行生しか来ないのでは、結局、原爆投下の事実、一部の人が知らないままです。

興味のない人の多くは、戦争を遠いものだと思っているのではないのでしょうか。70年以上前のこと、中東やアフリカのこと…といったように。

今、日本は戦争をしない国だから良いんじゃないか、と平和ボケしている場合ではありません。現在の世界で日本のように平和主義を掲げている国はとても珍しいですし、日本もほんの三代前までは戦争をしていた国だったので。

戦争を経験した方々の平和を求めめる声を大切に、戦争の恐ろしさを同年代の人に横に伝えていくことが、平和な世界への第一歩であり、戦後の日本に生まれた私達の義務だと思います。

私にも何かできる? 今すぐできるアクションがあります!

## あなたの署名を国連へ…「ヒバクシャ国際署名」に参加しませんか?

### ヒバクシャ国際署名とは?

2016年4月、広島と長崎の被爆者が世界に賛同を呼びかけて署名活動をスタートしました。核兵器の廃絶を実現することを目的とし、「核兵器禁止条約」が議論されている国連総会に2020年まで毎年届けます。パルシステムは、この呼びかけに賛同し、核のない社会の実現を広く訴えていきます。7月24日週のカタログと一緒に、署名用紙をお届けしますので、ぜひ署名にご協力ください!



オンライン署名・もっと詳しく知りたい方はこちらから

